

旧玉泉館収蔵考古資料

溝口, 孝司

九州大学比較社会文化研究院環境変動部門基層構造講座 : 准教授 : 考古学

<https://hdl.handle.net/2324/8757>

出版情報 : 貴重文物講習会. 4, 2008-01-21. 九州大学附属図書館
バージョン :
権利関係 :

玉泉館

一、玉泉館の由来 本館は、現在の教養部の前身である福岡高等学校教授であった玉泉大梁先生が、歴史教育の資料を集め、これを整理し陳列して学生の自発的研究の便宜のために創立されたもので、昭和五年三月に開設された。考古学資料約六千点古文書類約四千点を収めており、開設以来、歴史研究者の間で注目されている研究設備である。その配列も先生の意志を尊重して現在でも殆んど変更を加えていない。

二、考古学資料は、才一門石器、才二門弥生式土器及埴輪、才三門須恵器、才四門瓦、才五門瓷器、才六門貨幣、才七門鏡、才八門金環及玉類、才九門武器及馬具、才十門縄文式土器、門外雜の部に分類し、更にこれを先史・大和・奈良・平安・鎌

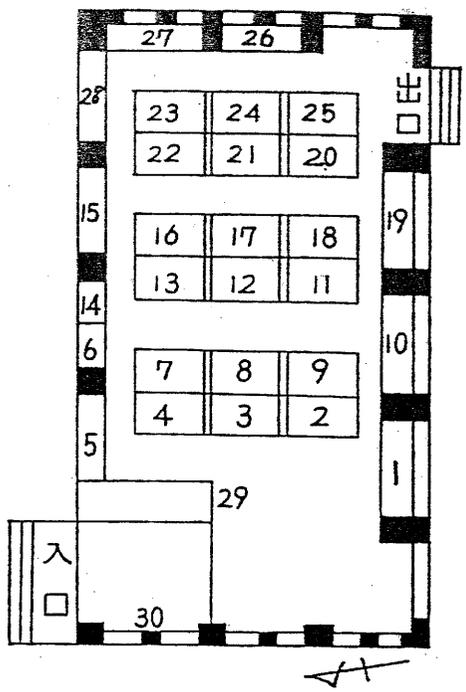
倉・室町・安土桃山・江戸の各時代別に分類し陳列してある。なお古文書類は陳列していないが、文禄年間から明治初年に至る、主としてキリシタン史料及び黒田民政史料を、分類整理して収蔵している。その中心をなすものは糸島郡の三苦家文書で、江戸時代の庄屋文書としてまとまったものである。

三、陳列品目の概要（以下の番号は陳列棚の番号を示している）

- (1) 満州、琉球、台湾、南洋出土の石器類
- (2) 上段は弥生式土器、下段は石器及骨角器
- (3) 上段は弥生式土器、下段の二十余個の石斧は、糸島郡今山石斧製作址発見のもので、製作の順序を知ることが出来る。
- (4) 上段は弥生式土器、下段は石鏃の形式分類及銅鏃類
- (5) 打製及磨製の石錘
- (6) 土錘類

- (7) 上段は弥生式土器下段は古墳出土の鉄製品
- (8) 上段は土師器、下段は筑後草野町裝飾古墳の出土品で、掛甲の札板・杏葉等
- (9) 上段は弥生式土器、下段は九州・関東・奥羽の縄文式土器
- (10) 朝鮮関係の土器
- (11) 上段は古瓦類及須恵器、下段は埴輪
- (12) 上段は古瓦類及須恵式高坏類、下段は小明器・紡錘車・鉄斧・鉄鋤・玉類
- (13) 上段は古瓦及須恵式平瓶類、下段は玉類・金銀環類
- (14) 朝鮮土器
- (15) 奈良時代の遺品、特に二日市町発見の香爐脚部は出色
- (16) 上段は奈良時代の古瓦、下段は筑紫郡三宅村の瓦窯址の煙出しに使用された雄瓦及同瓦窯址焼成の土器

- (17) 上下段共に平安時代の古瓦、瓦経類
- (18) 上段は鎌倉及室町時代の古瓦並びに提瓶、下段は板碑
- (19) 琉球浦添城の瓦及名島城の棟瓦
- (20) 上段は安土桃山及江戸時代の瓦、下段は薩摩ガラス及博多湾出土の青瓷器類（檜垣元吉氏寄託）
- (21) 上段は楽浪出土品・新羅の古瓦・江戸時代古瓦、下段は九州関係陶器及甲骨文字とギリシャ・ローマ貨幣（檜垣元吉氏寄託）
- (22) 上段は朝鮮及中国古瓦、下段は鳩目銭及藩札
- (23) 上下段共外国の遺品、下段は周漢の貨幣・鏡類
- (24) 上段は陶磁器類・博多湾出土の磁器類・蒙古兜、下段は朝鮮及日本の鏡
- (25) 台湾土俗品



玉泉館平面図

- (26) 外国の遺品及貨幣類
 - (27) 日本の古銭類
 - (28) 江戸時代の武器
 - (29) 甕棺は三潯郡大善寺村出土のもの
 - (30) 粗製組合式石棺は浮羽郡水繩村の出土品
- 古文書 三苦文書三千四百余点を主体として坂口、田村、下瀬、斎藤、山口、井手、江藤、武藤、北川、成富等の文書を収蔵している。年代は文禄元年を最古とし明治初年に至る。内容は切支丹史料、黒田藩民政史料を主としている。三苦文書は政治、法制、土地、度量衡、貨幣、交通、測量、農業、商業、財政、社会、宗教、教育、御書付、願書、売買、貸借、質入、下作、請取並払渡地券、地図、雑に分類している。

玉泉館 案内



九州大学教養部